

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	既存の職員は理念の説明を職員会議時にしていたが、新人職員には十分な研修ができておらず職員全員が十分に理念を理解し実践に繋げるに至っていない	新人職員も含め、職員全員が理念を理解しケアの実践に繋げていく	新人職員の採用時研修において、理念についての研修を取り入れると共に、月1回の職員会議にて職員全員で理念を確認する時間を設ける	3ヶ月
2	2	運営推進委員の方の協力で地域の文化祭に参加したり、近隣の保育園児との交流を行うまでには至っているが、日常的な交流には至っていない	地域の中の家として施設全体で地域に溶け込み、地域の行事に積極的に参加し、地域との交流が日常的に行えるようにする	運営推進委員の自治会長様に相談し、自治会の加入を進め日常的な交流ができるようにする。また、地域の祭りに参加するなど外に向けて試みる	6ヶ月
3	5	定期的に「身体拘束」についての研修を行っているが、周知徹底が不完全である	各ユニットで利用者の特性、今必要なことなどを毎月ユニット会議で話し合い、安全確保の為にしているケアが拘束なのか、常に意識してケアを行う。	フロアミーティング、全体職員会議などで職員教育を継続していく	3ヶ月
4	13	日中・夜間の避難訓練を実施したが、特に夜間帯は夜勤者だけでは避難に困難があることが判明した。また、職員の緊急連絡網でどこまで短時間に対応できるかが課題となる	地域に溶け込んだ施設を目指し、日頃から密に交流を持てるような働きかけを行う	運営推進会議などで協力を呼びかけ、また、自治会活動に参加させていただけるように進めていき、近隣との交流を作ることに努めることで緊急時の協力を依頼できるような関係作りに努める	12ヶ月
5	14	接遇研修などを定期的に行い、職員会議時にも「言葉遣い」について常に話をしているが、まだ全職員にまで浸透していない	常に自己のケアを振り返り、全職員が利用者に対し尊厳を持ったケアをするよう努める。また、職員同士が自分達のケアに対する意見や言葉遣いなどに対してきちんと意見を言える関係作りを行う	接遇研修を定期的に行い、主任・リーダーを中心に職員会議などで自己を振り返る時間を設ける	6ヶ月
6	15	家庭的な雰囲気を出す為に共に食事をするところを行ってきたが、実際、ゆっくりした雰囲気の中で食事を楽しむ雰囲気にはなれておらず、慌ただしく職員が食事をして次のケアにいくということが現状である	食事介助のマナー、食事中の安全性を考慮し、落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しみ、安全な食事を提供する	介助が必要な方が増えた今の現状、食事を共に楽しむことの困難性を感じながらも今までのやり方を変える事が出来なかったが、今の現状に必要なことを考え直し、共に食事をするやり方を取りやめ、職員の見守りや、声掛けで楽しく安全な食事の提供に努める	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。